

弓道から学ぶ

私は弓道をはじめ今年で14年になります。
またまた「駆け出しですか」。この間に弓道から
学んだことがたくさんあります。
そしてこのことは過去に学んだ「楽器や、
現在学んでいる英会話等にも通ずるものである
と思います。

※ 効果を急がない

だれにでも悪い癖や、ここをこうしたいと思う事が
いくつもあります。
少しずつ練習を重ね、日々目に見える進歩は
なくても、いつか出来ることを信じて続けること
が大切です。

やってすぐできるものではありません。

やってすぐできたように思っても、じっくり取り組み
体が覚えるまでやり続けなければ、身について
いけないことは、すぐ戻ってしまいます。

※ 基本と大切に。

基本とは、最初に教えられることですか。

簡単なこととか、初心者かやることという
意味ではないと思います。

基本とはやるべき一番大切なことです。

初心者から範士の先生まで基本は同じです。

えいえいだからこれはやらなくてもいいとか

そういうものはありません。

それが基本だと思っています。

何か困った時や悪い癖が出た時には
「基本に戻りなさい」と教えられます。
少し段が上がってくるとそのことを忘れ、難しい
テクニックに走りかちてですが、結局基本に
戻るのですから、難しい技術や覚えようとするより、
基本を忘れずに少しずつ練習することが
遠まわりのようで、かえって近道なのだと思います。

※練習は嘘をつかない

練習をしないで上手になるはずがありません。
射型や的中の安定、
練習をしなければたまにうまくいくこともあります
が、本物ではないのですぐくずれます。
「練習は嘘をつきません。練習ときちんとしていれば
身につく。精神的にも自信につながる」と
教えられます。
それも正しい練習をしないと悪い癖を定着させます。

※練習結果に一喜一憂せず淡々と続ける。

やってもやってもなせできないくじょうと。
練習結果に一喜一憂せずに続けることか大切。
自信があまりないのもよくありませんが
できるはずという思いがあまり強すぎても
少し練習したぐらいで出来ないと落胆し、
落ちこみます。
自分は出来ないから練習しているんだと思えば
無、落ちこまないと思います。

3道から

学んだことの一部ですが"3道に限らず", 物事を学ぶ上で"通じるものがある"と思います。

書きはからも生井先生がおっしゃっているようにも思えてくるのです。

私の考えでは、何かをやり始めて、3年は入門、

それからが初心者の始まり、スタートから、6、7年は初心者であると思います。

それからがいろいろなものが見えてきて、10年たって難しさ、何かわからないか、はじめて見えてくるのではないのでしょうか。

英会話道場 イングリッシュ ヒルズにお世話になって2年半、今のところ入門です。一冊目のテキストが終るころ、ようやく3年にたどり着くそうです。

まだそれも難しいくらいですか、少しづつ、覚えていけたらと思います。

効果を急がず、これから生井先生を信じて続けていきたいと思っています。